

「日本経済見捨てられる私たち」山家悠紀夫

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No247(23-05) 2008年10月31日

航空連定期総会 学習会報告シリーズ②

目からウロコの経済学

グローバル化で日本は大変は本当？

定期総会学習会報告シリーズ②は、「日本経済に関する3つの神話（誤解）」に関する内容です。日本経済が大変なのは、また、私たちの生活が良くならないのは、経済のグローバル化や、国家財政を立て直すために仕方ない、そのためには構造改革をやるしかない、多くの日本国民が思いこんでいますが、山家悠紀夫さんは、「それこそが神話であり、国民が思いこまされている誤解である」と指摘しました。

日本は先進国 No1 の貿易黒字国

スーパーや電気店などに買い物に行けば、中国や東南アジア諸国の食品や電気製品が売られ、身近な所からも経済の国際化(グローバル化)を実感します。

自動車や電気製品など、工業製品を輸出していた日本にとって、コストの安い国々との競争は大変であり、国際競争力をつける必要があると言われれば、ガマンも仕方ないと思ってしまう。

では国際競争力とは何か、外国で日本製品が売れば、価格競争力があり、国際競争力があると言えます。そして、その結果は貿易収支に示されます。

日本の貿易収支を見れば、ほとんど毎年 10 兆円を超える黒字を出し続けています。そして、国の経常収支は、先進国で No1 の黒字国です。(グラフ&表参照) 世界の国々から見た日本は、抜群の国際競争力を持っており、その国の内部で「まだ競争力が足りない」などと言っているのを聞いたら、びっくりするでしょう。

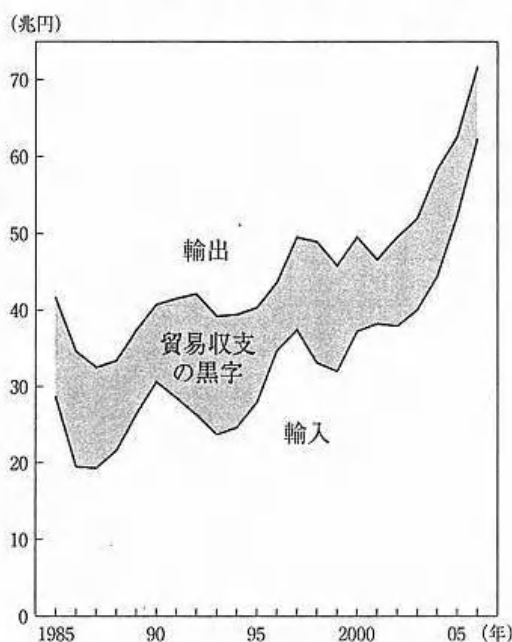
日中貿易は日本の輸出が上回る!

近年は中国や東南アジアの経済が伸びているので大変だとも言われます。では、その中国との貿易収支はどうか、90年から06年までの推移を見ると、中国から日本へ輸出は2兆円から14兆円へと7倍にも急増していますが、それと同じくらい日本から中国への輸出が増えており、金額的には日本が上回ります。(グラフ参照)

貿易を増やしていけば、厳しい状況になる分野が出てきますが、一方では恩恵を受けている分野もあると言うことです。それは、自由貿易をすればやむを得ない面であり、その調整(輸入制限や産業保護、構造転換補助など)をするのは、政治の役割です。

経済のグローバル化で大変だというのは、日本全体の経済には当てはまらず、グローバル化で大儲けをしているのが実態です。その儲けを国民に還元し、内需を拡大することこそが求められているのです。

図4-1 日本の貿易収支
(ほとんど毎年10兆円超の黒字が続く)



(注) 2006年の黒字は9.5兆円。原油価格の高騰による輸入増で貿易収支は2001年(8.4兆円の黒字)以来の10兆円割れ。

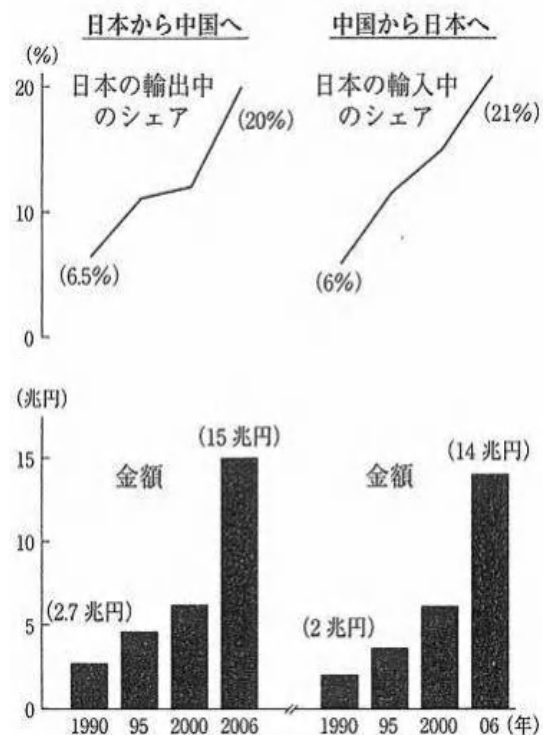
(資料) 財務省「貿易統計」

表4-2 日本は先進国1の黒字国
(主な国の経常収支)

	(単位: 億ドル)			
	2005年	2006年	2007年 (予測)	2008年 (予測)
日本	1663	1712	2077	2407
ドイツ	1292	1479	2182	2369
スイス	602	653	692	745
ノルウェー	465	561	566	662
スウェーデン	254	259	311	317
カナダ	265	214	251	293
フランス	△246	△277	△252	△252
イタリア	△279	△448	△508	△563
イギリス	△526	△801	△870	△765
アメリカ	△7951	△8567	△8419	△9048

(資料) OECD「Economic Outlook No81」(2007.5)

図3-1 拡大する中国との貿易



(注) 中国は香港を含む

(資料) 財務省「貿易統計」